

平成29年度第2回新居浜市地域包括支援センター運営協議会 議事録

1 開催日時 平成29年9月21日(木) 14:00~15:30

2 開催場所 市役所3階 応接会議室

3 出席者

委員：大野委員、岸委員、定岡委員、西原委員、土岐委員、宮内委員、山内(富)委員、
山内(保)委員、山本委員(9名)

事務局：福祉部 総括次長・加藤、地域包括支援センター 所長・古川、副所長・伊藤、
係長・佐々木、係長・越智、介護福祉課課長・木俣

4 会議内容

- (1) 在宅医療・介護連携推進事業について
- (2) ブランチ再編について
- (3) 制度改正について
- (4) 有資格者確保策について
- (5) 事業の進捗について
- (6) その他

5 傍聴者 0人

6 議事録

会 長	<p>定刻となりましたので、ただいまから、平成29年度第2回新居浜市地域包括支援センター運営協議会を開催いたします。</p> <p>委員の皆様には、お忙しい中、ご出席いただき、お礼申し上げます。</p> <p>先ほど事務局に聞きましたところ、10月から次の委員の選出を始めるそうです。現在の委員任期の11月末までには運営協議会は開く予定が立てられないということです。本日が現委員さんの今期3年間の最後の会議ということのようです。3年間お疲れさまでございました。区切りの会でありますので、最後まで積極的にご意見を出していただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、本日の議事の確認をいたします。お手元の一枚目、会次第をご確認ください。本日は、「認知症初期集中支援チーム検討委員会」と「健康長寿体制整備事業第1層協議体」は議題に含まれてなく、最初の議題が「在宅医療・介護連携推進事業」について、次に「ブランチ再編」について、そして「制度改正の内容」と「有資格者確保策」、「事業の進捗」について、その他が予定されています。15時30分には終了したいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>それでは、委員の出席状況を確認いたします。本日の会議は、委員数14名に対し、現在出席の委員さんは9名ですので、新居浜市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第6条の会議の成立要件であります過半数以上の出席を満たしておりますことを確認いたします。</p> <p>それでは、ただいまから議事に入りますが、委員の皆様の忌憚のない活発なご意見をお願いいたします。</p> <p>まず、議題の(1)「在宅医療・介護連携推進事業」について事務局から報告をお願いします。</p> <p>(事務局報告)</p>
会 長	<p>ありがとうございました。ただいまの「在宅医療・介護連携推進事業」について、ご意見ご質問のある委員さんはご発言をお願いします。</p>
委 員	<p>マップについて、愛媛県も、医療に関しては見たことがあって、介護の方は見ていませんが、結構、一般向けにかなり突っ込んだ細かいところまで載っていますが、それは参考にされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>どの事業者も、情報を作り込むにあたっての元情報は、県の作られているものを基にして、その範囲からスタートする、もしくは、その範囲で作りにいくという発想です。医療は、大変充実していると私も思っています。ただ、医療介護連携で、一定の入り先から、医療医療で情報を見る、医療介護で情報を見る、介護医療で情報を見るというのに、入口を同じにしておきたい、同じ探し方で、同レベルの質の情報を共有していくというのが大事だと思います。医療だけでいいというのであれば、お金をかけて入れたいとは思いません。介護については、ワムネット等ありますが、例えば、空き情報とかも、一、二年全然更新のないままの事業所とか、載っているが廃業している事業所とか、ものすごく情報の質が悪いので、実際使いようがないということです。</p> <p>それから、私たち一般市民として、どういうところがあるのだろうみたいな興味ぐらいで探しに行くには十分ですが、専門職が専門職として施設を探しに行く、例えば、ショートステイを自分のお客さんに探しても、これに対応しているだろうか、こんなことはやってくれるのだろうかという部分の情報がないと、全部片っ端から電話かけて聞かないといけないということになります。ただ実際、それぞれの専門職の方の实情に堪える、そうした医療情報、介護情報が両方同じところから入っていけることは大事だと考えています。</p>
委 員	<p>新居浜にも、このような福祉とか医療の情報ではありませんが、社会資源の情報をいろいろ更新してくれる「まいぷれ」いう企業もあります。そういうところの方が、</p>

	<p>よく対応してくれるのかなと思いますが、地元の企業を生かすというのではないのですか。</p>
事務局	<p>公募に対してこちらがどういう条件設定をするかによりますが、公募に応じていただいたらいいですけど、地元の企業だからということだけで、選別するにはあまりに専門的な部分があるかなと考えています。</p>
委員	<p>最終的には公募ということですか。</p>
事務局	<p>安かろう悪かろうもいけないし、高いだけでもいけないし、ネームバリューがあっても使い勝手が悪いのもいけないと思うので、競争なり、提案型の形をとる必要があると思います。例えば、PASC Oさんだったら、新居浜市が導入するメリットとしては、福祉だけで入れるのには無駄が多いと思います。経済部で観光の分野とか建設部の分野が同じように、このソフトを活用していこうというのであれば、それぞれが安めに入っていくことになります。拡張性を考えるとPASC Oさんがいいかなとなります。</p> <p>TOTECさんでいうと、TOTECさん自体が、国の情報等どんな情報もそこに行けば見られるという考え方であり、ストローハットさんは、全国の病院の連携室にお勤めの方が会員になるNPOの事務局をされている方が立ち上げたNPOで、その方、今は東京に移られて、2~3年前までは四国中央市にいらっしゃったみたいですが、その事務局のソフト化をされていて、自分たちの業務として医療介護連携というもの的大事にしているという、それぞれのスタンスがあります。</p> <p>市が予算をとって一つのものを入れるとしたら、当然庁内の審査の中でも出てこようかと思いますが、どれだけの意味をもっているのかと同時に、それを作り込みに行った業者さんの姿勢とか考え方、信頼感等がありますので、その辺トータルで考えてという気がしています。</p>
委員	<p>今後の課題になると思いますが、情報のアップデートはどうなるのか。各法人さんもそれぞれ自社のホームページがあって、ショートステイはいつからいつまで空いているというのは当初は出来ていても、自分の法人でも、更新されていないということが、時々見受けられるので、市民としては、より最新の情報をきちんと提供する、また、それを見るという環境がきちんと整うということが大事ですから、市が集めるか業者で集めてもらうか考えていく必要があると思います。</p>
事務局	<p>使えるものでないと使わなくなって、使わないから情報も更新しなくていいというマイナスの動きがありますので、使えるものを、こちらも初めから相談しながら用意しに行って、用意した以上は使い始めていただきたいというところで、使っていくのだから情報も新鮮なものという、プラスの循環でまわっていくような取り組みをしたいと思います。</p>

	<p>先ほどの二社、TOTECさんとストローハットさん、それぞれの考え方がありますが、お金に換算すると、人件費の代わりに委託料で更新してくれるか、その代わりにこちらに人がいるということで、お金のプラマイというのではないです。業者が業者として契約しているから責任を持てますという、これが担保されていると考えるのか、新居浜市が、予算、人員配置、それからこの事業の中でお金を使っているというところで、国、県の指導や庁内の監査が入ってくるところをもって、事業がきちんとなされていることがチェックされ、きちんとその情報を取りにいっているとか、事務を継続しているところを内部的に、外部的に確認されて指導を受けていることをもって、担保というのか、どちらの考え方も有り得ると思うので、しっかり目的としては使えるものを使うことで、安心社会を作るとのことだと思います。そういう考え方で選別しに行きたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど所長さんの方からお話がありましたが、何のためにという新居浜市として本当にこれがないといけないかどうかとか、必要性の調査をすべきということでした。ITというのは、画一的なので、扱う方たちとの関係性というところが十分にできて、いいデータが作られるという前提かという気がします。この前、紙ベースのものはいろいろ見せていただき、変化するからネットに載せておけば修正して活用出来るとしても、入口までの情報しかないとなれば、その後は、自分たちでということになるし、専門家が使うという前提で作るのか、もう少し市民目線を加えるのかによっても違うだろうなど、リサーチがとても大事じゃないかと思いました。</p> <p>ささやかなものは前にも申しましたが、西予市でkintoneを使って事業所さん登録制で、会費をお互いに払って毎年更新というのをしておられますが、それでもやっぱり電話連絡とか足を運ぶということをプラスしないと実質的には有効に使いきれないという声も、小さい町でもそういうことがあります。新居浜は比較的エリアが小さいので、本当にネットに載せないが無理なのか、それとも今の部分とどう調整するのか、そんなところはこれからかなと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>十分検討していきたいと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、次に、議題の(2)「ランチ再編」に移ります。事務局は説明をお願いします。</p>
	<p>(事務局説明)</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。ただいまの「ランチ再編」について、ご意見ご質問はございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>若宮小学校は、廃校になると思いますが、地区としては、惣開、若宮という呼称のままでしょうか。</p>

事務局	<p>その方向性は出ていますが、将来の形を含めた地元合意が完全にとれた訳でないので、説明の中でご理解を広げている段階だと思います。</p> <p>十全さんの惣開、若宮校区は、それぞれ人口規模は、大きくはないですが、惣開は高齢化率が一番低く、若宮は別子、大島を除いてですが一番高いです。地域の特性が、隣り合っていますが、ものすごくギャップがあるエリアです。校区が一つになっても、子供たちに関わる中で、順々に月日とともに一体化もしていきたく思うのですが、生活の実態としては、しばらく別の校区というのは継続すると思いますので、もうしばらくこの形で考えていけたらと思います。</p>
委員	<p>それでは、次に、議題の（３）「制度改正の内容」と（４）「有資格者確保策」（５）「事業の進捗について」に移ります。事務局は説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（事務局説明）</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、ご意見をお伺いします。ご意見ご質問はございませんか。</p> <p>意見質問なし</p>
会長	<p>では最後に、（６）「その他」を、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>次回は、委員の改選後の１２月の末もしくは１月に開催予定です。</p> <p>改選の依頼については、委員のみなさんの所属団体に対して、９月末もしくは１０月初めの頃に推薦依頼を送ります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。それでは、予定しておりました議題はすべて終了いたしました。最後に何かご意見等はございませんか。</p> <p>意見なし</p>
委員	<p>無いようですので、以上といたします。</p>
会長	<p>本日は、長時間にわたりまして、熱心にご協議いただきましてありがとうございました。また、委員の皆様には、３年間にわたるお役目ご苦労様でございました。引き続き来季も委員となられる方、また交代される方もいらっしゃるかと思います。今後もそれぞれの立場でご活躍いただきたいと思います。私、それから岸副会長も、十分とは言えなかったかもしれませんが、何とか３年間、役目を果たすことができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。地域包括支援センターと地域支援事業は、これからの超高齢社会の諸問題を乗り切っていく中心</p>

的な組織、事業であると思います。今後の、より積極的な活動をお願いいたしまして、閉会と任期最後の挨拶としたいと思います。

では、これもちまして、本日の会議を終了いたします。お疲れさまでございました。